




施策評価シート

記載年月	令和6年9月
対象年度	令和5年度

1 施策の目的等

施策名	061 安全で持続可能な道路機能の保全・整備		
総合計画	基本目標	IV 魅力あふれる うるおいと活力のあるまち（都市基盤・産業）	主担当部課名
	基本施策	03 都市基盤の保全・整備	
めざす姿	都市計画道路や市幹線道路が、バリアフリー化や無電柱化等を考慮した上で整備されています。また、道路や橋りょうなどの道路施設について、予防保全型の管理や、市民・事業者・市との協働による取組により、長期にわたり機能の確保がなされています。このことにより、誰もが安全で快適に利用できる、持続可能な道路機能の確保ができています。		
SDGsとの関連	  		

2 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
(事業費)						
当初予算額	1,564,331,000	1,736,063,000	1,837,528,000	2,014,777,000		
国庫支出金	107,045,000	91,050,000	117,000,000	167,250,000		
都支出金	40,960,000	31,529,000	77,885,000	20,245,000		
市債	128,400,000	0	0	0		
その他	104,084,000	514,122,000	754,220,000	811,550,000		
一般財源	1,183,842,000	1,099,362,000	888,423,000	1,015,732,000		
予算現額	1,614,794,000	1,623,558,100	1,751,582,200	0		
決算額	1,535,850,243	1,508,098,229	1,566,068,823	0		
国庫支出金	106,776,000	87,924,000	87,000,000	0		
都支出金	44,714,000	15,196,500	66,579,500	0		
市債	117,000,000	0	0	0		
その他	104,081,340	509,676,220	738,611,600	0		
一般財源	1,163,278,903	895,301,509	673,877,723	0		
執行率	95.1	92.9	89.4	0.0		
(人件費)						
職員数	26.62	27.20	28.87	0.00		
職員人件費	208,594,982	219,726,087	230,345,216	0		
月額制会計年度任用職員数	1.00	1.00	0.85	0.00		
月額制会計年度任用職員人件費	3,248,692	3,237,775	2,741,014	0		
(間接経費)						
間接経費	16,411,389	16,290,669	16,174,038	0		
総コスト	1,764,105,306	1,747,352,760	1,815,329,091	0		

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)	実績	実績の推移				R 7年度 目標値
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	
① 橋りょうの老朽化対策実施率	20 %	実績 達成率	31.2 46.8	31.2 46.8	- 0.0	- 0.0	66.7
② 市内の狭あい道路の割合	9.05 %	実績 達成率	8.96 82.1	8.93 82.4	- -	- -	7.36
③ 道路の舗装や構造物に関する要望・相談の対応件数	530 件	実績 達成率	711 63.3	678 66.4	- -	- -	450
		実績 達成率					

指標の分析

外部要因の分析		外部要因を加味した実績の評価	
社会経済動向	管理橋梁の約8割が建設後40～60年経過しており、予防保全型の管理を行う必要がある。インフラの維持管理・修繕等に係る課題を解決する手段としての官民連携手法の一つである。	評価	目標達成に向け順調に進ちよくした
国・都の政策	橋梁の老朽化対策は、国・都ともに補助制度が設けられている。インフラの維持管理・修繕等に関する官民連携事業として、国が道路等包括管理事業を推進している。	橋梁の老朽化対策については、橋梁長寿命化修繕計画に基づきおおむね計画的に行っている。包括管理事業者のパトロール等により、不具合を発見・対応することや市民からの要望・相談を迅速に対応することで、道路の安全安心が守られ、予防保全に努めている。	
市民ニーズ	老朽化等による通行障害や第三者被害を未然に防ぐことが必要不可欠である。道路管理センターを開設したことで、道路に関する異常などの要望・相談を迅速に把握することができる。		

4 主要な取組(事務事業)の進行管理

事務事業名称	道路改良整備事業・都市計画道路整備事業		担当部課名	都市整備部 道路課				事業種別	主要な事務事業									
次年度における事業の位置づけ									B				1					
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度				R 5年度	R 6年度	R 7年度	計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度					要因の種類(※)							
① ※数値の比較や推移で評価することがなまじないため指標の設定は行わない	-	計画値	-	-	-	-	-	-	-	1 2 3 4 5 6 7 8								
	-	実績	-	-	-	-	-	-	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容																		
									要因の種類(※)									
									1 2 3 4 5 6 7 8									
									<input type="checkbox"/>									
要因の具体的内容																		
事務事業名称	狭あい道路拡幅整備事業		担当部課名	都市整備部 建築指導課				事業種別	主要な事務事業									
次年度における事業の位置づけ									B				1					
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度				R 5年度	R 6年度	R 7年度	計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度					要因の種類(※)							
① 市内の狭あい道路の割合	9.05	計画値	8.11	7.86	7.61	7.36	7.36	7.36	7.36	1 2 3 4 5 6 7 8								
	%	実績	8.96	8.93	-	-	-	-	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
要因の具体的内容									府中市狭あい道路の拡幅に関する条例の施行に伴い、狭あい拡幅整備工事は概ね順調に実施しているが、道路の管理移管の内部手続が遅滞しており、実績値としては微減となっている。									
									要因の種類(※)									
									1 2 3 4 5 6 7 8									
									<input type="checkbox"/>									
要因の具体的内容																		
事務事業名称	道路等維持管理事業		担当部課名	都市整備部 道路課				事業種別	主要な事務事業									
次年度における事業の位置づけ									B				1					
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度				R 5年度	R 6年度	R 7年度	計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度					要因の種類(※)							
① ※数値の比較や推移で評価することがなまじないため指標の設定は行わない	-	計画値	-	-	-	-	-	-	-	1 2 3 4 5 6 7 8								
	-	実績	-	-	-	-	-	-	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
要因の具体的内容																		
									要因の種類(※)									
									1 2 3 4 5 6 7 8									
									<input type="checkbox"/>									
要因の具体的内容																		

(※)要因の種類

- 1 概ね計画通り実施した
- 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った
- 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った
- 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った
- 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った
- 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった
- 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった
- 8 その他

5 施策の評価

	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度
評価	概ね計画通りの成果を上げた	概ね計画通りの成果を上げた		
今年度の主な取組と成果	富士見通り立体橋の補修工事、分倍河原駅跨線人道橋の補修設計及び2巡目点検を踏まえた計画の見直しを行った。 府中市狭あい道路の拡幅に関する条例の施行に伴い寄付申請件数が大幅に増えた。 コールセンター開設により、道路の舗装や構造物に関する要望・相談件数は増えた。(この点は計画を大きく下回る結果であった。)	富士見通り立体橋の耐震化工事及び西武多摩川線横断歩道橋の維持方策検討を行った。 コールセンター開設により、道路の舗装や構造物に関する要望・相談件数は増えた。(この点は計画を大きく下回る結果であった。)		
今後の展開	引き続き橋梁長寿命化修繕計画に基づき計画的に橋梁の老朽化対策を行う。 狭あい道路拡幅整備事業に関して普及啓発を行い、市民の協力を得ながら事業を推進していく。 道路の舗装や構造物に関する巡回時発見の件数を増やし、要望・相談件数を減らすように努める。	引き続き橋梁長寿命化修繕計画に基づき計画的に橋梁の老朽化対策を行う。 道路の舗装や構造物に関する巡回時発見の件数を増やし、要望・相談件数を減らすように努める。		
4年間の総合評価				
評価				
実績				
今後の展開				



6 関連計画における位置づけ

協働により推進したい取組		
道路等の清掃などの美化活動や包括管理に関すること。		
4年間(計画期間中)で協働により推進したい具体的な取組(解決したい課題・着手したい事業等)	今年度の方針	
道路等包括管理事業は、官民連携事業として取り組んでいるものの、市民を巻き込んだ三者での管理にはたどり着いていない状況である。 道路クリーンアッププロジェクトを通して三者での管理を行っていく機運の醸成を図る。	道路クリーンアッププロジェクトを実施していく。	
今年度の取組実績	評価	次年度の方針
市役所、市民、委託事業者の三者で5、12月の年2回のイベントを行った。 5月は除草・ゴミ拾いイベントを行い、FC東京の方とも協働した。 12月は落葉掃き・ゴミ拾いイベントを行い、読売ジャイアンツ女子チームの方とも協働した。	協働で実施したことにより、何らかの効果を市民に還元できた	今後も道路クリーンアッププロジェクトを実施していく。

施策評価シート

記載年月	令和6年9月
対象年度	令和5年度

1 施策の目的等

施策名	062 下水道施設の機能確保		
総合計画	基本目標 基本施策	IV 03	魅力あふれる うるおいと活力のあるまち（都市基盤・産業） 都市基盤の保全・整備
めざす姿	下水道施設が老朽化対策や地震対策等の計画的な取組により適切に維持管理されるとともに、下水道に流入する雨水の抑制対策により、浸水の軽減や河川の水環境の保全が図られており、市民の衛生的で快適かつ安全な生活環境が確保されています。		
SDGsとの関連	 		

2 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
(事業費)						
当初予算額	0	0	0	0		
国庫支出金	0	0	0	0		
都支出金	0	0	0	0		
市債	0	0	0	0		
その他	0	0	0	0		
一般財源	0	0	0	0		
予算現額	0	0	0	0		
決算額	0	0	0	0		
国庫支出金	0	0	0	0		
都支出金	0	0	0	0		
市債	0	0	0	0		
その他	0	0	0	0		
一般財源	0	0	0	0		
執行率	0.0	0.0	0.0	0.0		
(人件費)						
職員数	0.00	0.00	13.00	0.00		
職員人件費	0	0	103,726,883	0		
月額制会計年度任用職員数	0.00	0.00	1.00	0.00		
月額制会計年度任用職員人件費	0	0	3,224,722	0		
(間接経費)						
間接経費	0	0	0	0		
総コスト	0	0	106,951,605	0		

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)	実績の推移				R 7年度 目標値	
		R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		
① 下水道管の老朽化対策工事が必要な延長に対する実施済み延長の比率	7.7	実績	9.24	10.2	-	-	21.2
	km	達成率	43.6	48.1	0.0	0.0	
② 下水道施設の地震対策工事が必要な箇所に対する実施済み箇所の比率	498	実績	585	623	-	-	729
	か所	達成率	80.2	85.5	0.0	0.0	
③ 雨水浸透ますの設置個数	69,089	実績	82,676	86,439	-	-	84,100
	個	達成率	98.3	102.8	0.0	0.0	
		実績					
		達成率					

指標の分析

外部要因の分析		外部要因を加味した実績の評価	
社会経済動向	激甚化・頻発化する豪雨災害や新型コロナウイルス感染症の流行を契機に改めて防災と防疫という下水道の役割が再認識されており、老朽化・耐震化対策を計画的に進めることが求められている。	評価	目標達成に向け順調に進ちよくした
国・都の政策	関東大震災から100年という節目を迎え、これから先の100年を見据え国・都とも強靱化を推進する方向性を強く打ち出している。都においてはTOKYO強靱化プロジェクトを掲げ、市町村への財政支援等具体的な取組が動き始めている。		下水道管の老朽化対策工事は令和4年度に入札不調により布設替え工事を行うことが出来なかったため、達成率は約48%と低い水準であるが、計画的に老朽化対策を進めている。また、雨水浸透ますの設置や耐震化工事は予定どおり対策が進んでいる。
市民ニーズ	ゲリラ豪雨による下水道管の負担軽減（流出抑制）や雨水の地下水涵養による環境対策が浸透ます設置に求められている。また、下水道使用料の上昇を抑制しつつ災害時でも使用可能な下水道施設が求められる。		

4 主要な取組(事務事業)の進行管理

事務事業名称	下水道維持管理事業		担当部署	都市整備部 下水道課				事業種別	主要な事務事業									
次年度における事業の位置づけ									B				1					
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度				R 5年度	R 6年度	R 7年度	計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度					要因の種類(※)							
① 雨水浸透ますの設置個数	69,089	計画値	75,400	78,300	81,200	84,100	84,100	84,100		1	2	3	4	5	6	7	8	
	個	実績	82,676	86,439	-	-	-	-		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
要因の具体的内容		雨水浸透ますの設置は、新築建築の件数等に左右されるが、市民及び事業者の理解・協力をもらい、計画値を上回っている。																
		計画値							要因の種類(※)									
		実績							<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
要因の具体的内容																		
事務事業名称	下水道老朽化対策事業		担当部署	都市整備部 下水道課				事業種別	主要な事務事業									
次年度における事業の位置づけ									B				1					
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度				R 5年度	R 6年度	R 7年度	計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度					要因の種類(※)							
① 下水道管の老朽化対策工事が 必要な延長に対する実施 済み延長	7.7	計画値	14.3	16.6	18.9	21.2	21.2	21.2		1	2	3	4	5	6	7	8	
	km	実績	9.24	10.2	-	-	-	-		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
要因の具体的内容		令和5年度のストックマネジメント計画に基づき、管更生工事を972m、布設替工事を2m実施した。																
		計画値							要因の種類(※)									
		実績							<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
要因の具体的内容																		
事務事業名称	下水道地震対策事業		担当部署	都市整備部 下水道課				事業種別	主要な事務事業									
次年度における事業の位置づけ									B				1					
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度				R 5年度	R 6年度	R 7年度	計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度					要因の種類(※)							
① 下水道施設の地震対策工事が 必要な箇所に対する実施 済み箇所	498	計画値	550	610	670	729	729	729		1	2	3	4	5	6	7	8	
	箇所	実績	585	623	-	-	-	-		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
要因の具体的内容		総合地震対策計画(第Ⅲ期)に基づき耐震継手の設置を行った。																
		計画値							要因の種類(※)									
		実績							<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
要因の具体的内容																		

(※)要因の種類

- 1 概ね計画通り実施した
- 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った
- 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った
- 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った
- 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った
- 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった
- 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった
- 8 その他

5 施策の評価

	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度
評価	概ね計画通りの成果を上げた	概ね計画通りの成果を上げた		
今年度の主な取組と成果	雨水浸透ますの設置 3111個 マンホールの耐震継手 40箇所	雨水浸透ますの設置 3763個 マンホールの耐震継手 38箇所 老朽化対策工事 0.97Km		
今後の展開	引き続き下水道施設における対策事業を推進する。	引き続き下水道施設における対策事業を推進する。		

4年間の総合評価

評価	
実績	
今後の展開	

6 関連計画における位置づけ

協働により推進したい取組		
下水道管の詰まりと悪臭の防止や、雨水浸透施設の設置に関すること。		
4年間(計画期間中)で協働により推進したい具体的な取組(解決したい課題・着手したい事業等)	今年度の方針	
下水道管の詰まりと悪臭を誘発する原因の一つに油やモルタル等を流す行為があるので、使い方のマナーについて意識啓発を行う。 雨水浸透施設を設置することは、合流式下水道の下水流量の負担軽減及び水再生センターの下水処理の負担軽減や地下水涵養等の環境改善対策や多摩川などの河川への雨水抑制による洪水対策として効果的なため設置促進に取り組む。	引き続き、都下水道局と協力して「油断快適・下水道 油を流さないで！」キャンペーン等に取り組む。 また、雨水浸透施設の設置促進では、市民及び事業者と協力し、設置促進に努める。	
今年度の取組実績	評価	次年度の方針
都下水道局と協力して、下水道の適正利用についての意識啓発を行った。 また、雨水浸透施設の設置促進では、市民及び事業者の理解・協力をもらいながら、設置促進に努めた。	協働で実施したが、市民への還元効果については不明確である	引き続き、都下水道局と協力して「油断快適・下水道 油を流さないで！」キャンペーン等に取り組む。 また、雨水浸透施設の設置促進では、市民及び事業者と協力し、設置促進に努める。